

あま市地域福祉に関する  
アンケート等調査報告書（案）

令和5年 月

あま市



# 目次

<b>第1章 一般市民アンケート調査</b> .....	1
1 調査の概要.....	1
調査目的 .....	1
調査設計 .....	1
回収結果 .....	1
報告書の見方 .....	1
2 回答者の属性について.....	2
3 地域との関わりについて.....	9
4 地域の支えあいについて.....	25
5 ボランティア活動について.....	40
6 災害時における活動等について.....	49
7 再犯防止について.....	59
8 成年後見制度について.....	62
9 市の福祉施策等について.....	68
10 社会福祉協議会の活動について.....	89
11 市民アンケート調査結果からみるあま市の地域福祉の課題と今後の方策.....	100
<b>第2章 団体アンケート調査</b> .....	106
1 調査の概要.....	108
2 アンケート結果.....	109
3 対面ヒアリング結果.....	135
4 団体アンケート調査結果からみるあま市の地域福祉の課題と今後の方策.....	149
<b>資料編</b> .....	151
1 市民向けアンケート調査票.....	153
2 団体向けアンケート調査票.....	169



## 第1章 一般市民アンケート調査

---



# 1 調査の概要

---

## 調査目的

---

平成 31（2019）年 3 月に策定した「第 2 次あま市地域福祉計画及び第 2 次あま市社会福祉協議会地域福祉活動計画」の見直しを行うにあたり、地域における様々な課題の解決に向けて、市民と行政がともに地域福祉を推進していく上での指針となるこの計画を、現在の多様化・複合化するニーズに応じていけるようにするため実施しました。

## 調査設計

---

調査対象	18 歳以上の市民
対象者数	3,000 人
抽出方法	無作為抽出
調査時期	令和 4 年 10 月 6 日（木）～10 月 28 日（金）
調査方法	郵送による送付・回収

## 回収結果

---

配布数	3,000 件	
回収数	1,118 件	
	有効	1,118 件
	無効	0 件
有効回収率	37.3%	

## 報告書の見方

---

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が 100%にならないこともあります。
- (2) 回答率（%）は、その質問の回答者数を母数として算出しました。
- (3) 基数となるべき実数（n）は、設問ごとの回答者数として掲載しました。比率は、この回答者数を 100%として算出しています。
- (4) 複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数とし、その項目を選び、○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をしました。そのため、各項目の比率の合計は 100%を超える場合もあります。
- (5) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。

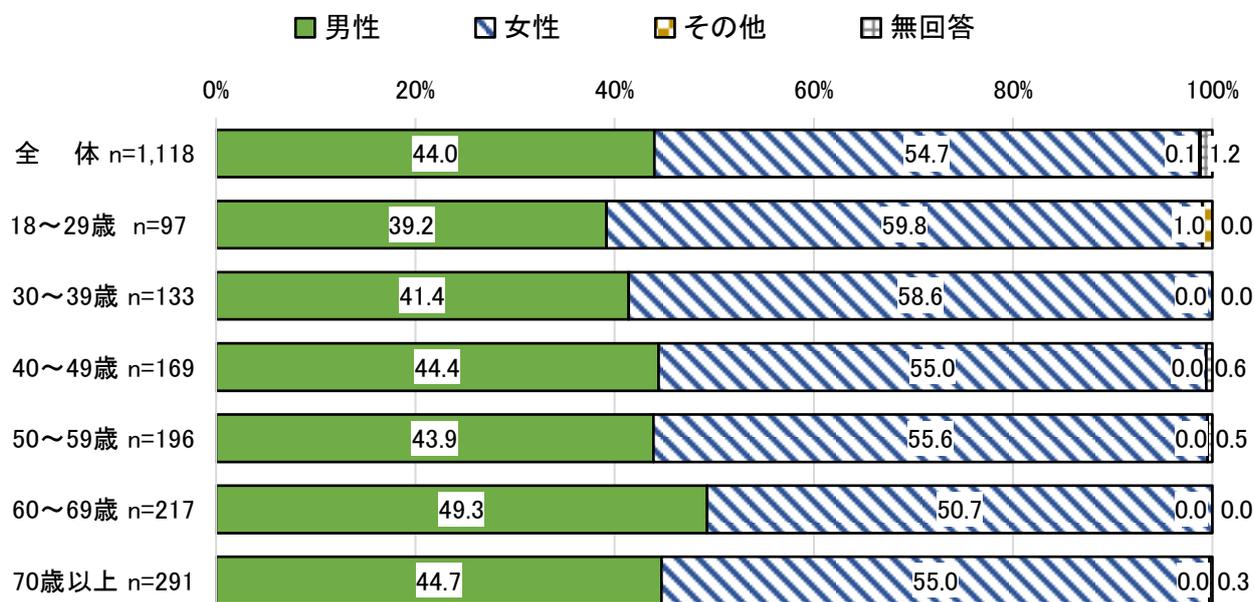
## 2 回答者の属性について

### 問1 性別をお答えください。(〇は1つだけ)

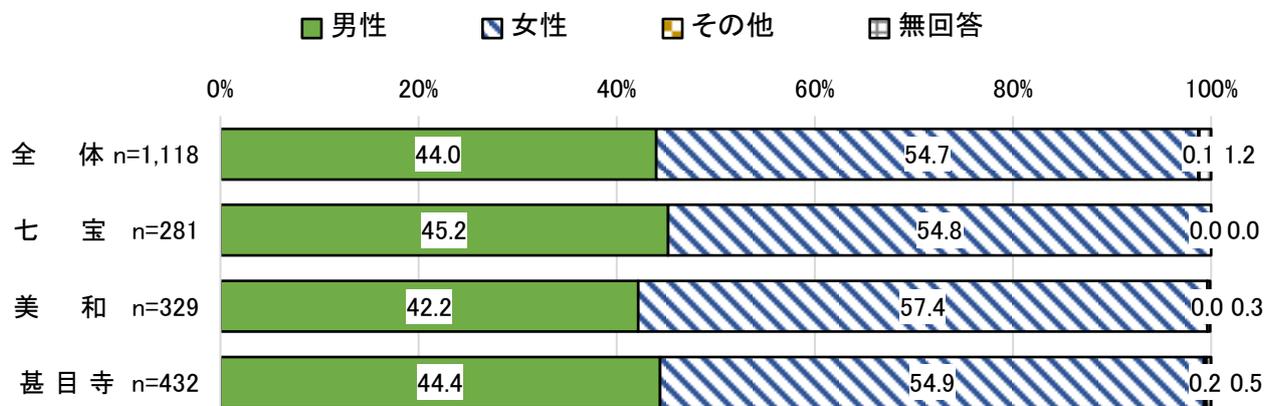
性別は、「男性」が44.0%、「女性」が54.7%となっています。

年齢別・地区別にみると、いずれの年齢・地区においても女性の方が男性よりやや高くなっています。

#### 【年齢別】



#### 【地区別】

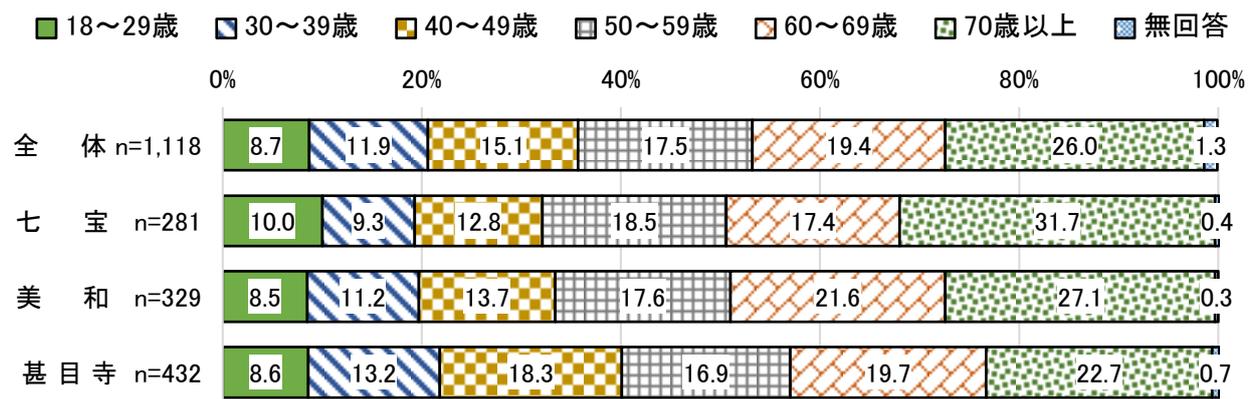


問2 年齢をお答えください。(〇は1つだけ)

年齢は、「70歳以上」が26.0%と最も高く、次いで「60～69歳」が19.4%、「50～59歳」が17.5%となっています。

地区別にみると、いずれの地区においても「70歳以上」が高くなっています。

【地区別】



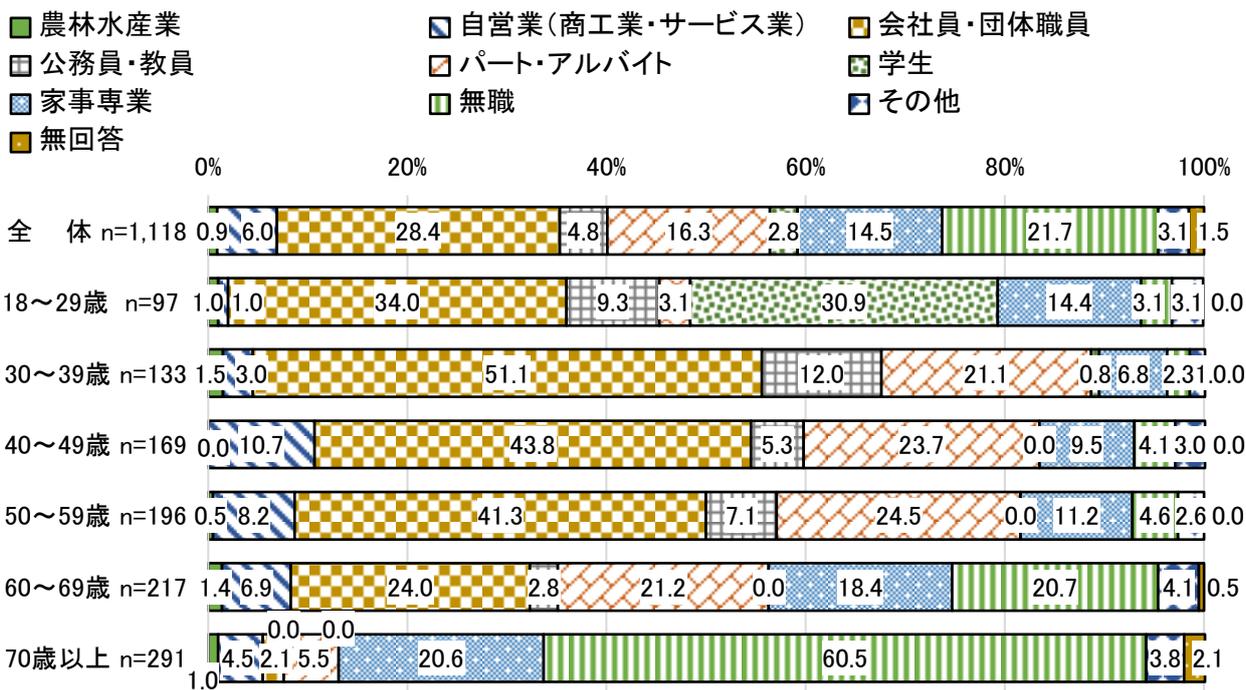
### 問3 主な職業についてお答えください。(〇は1つだけ)

主な職業について、「会社員・団体職員」が28.4%と最も高く、次いで「無職」が21.7%、「パート・アルバイト」が16.3%、「家事専業」が14.5%となっています。

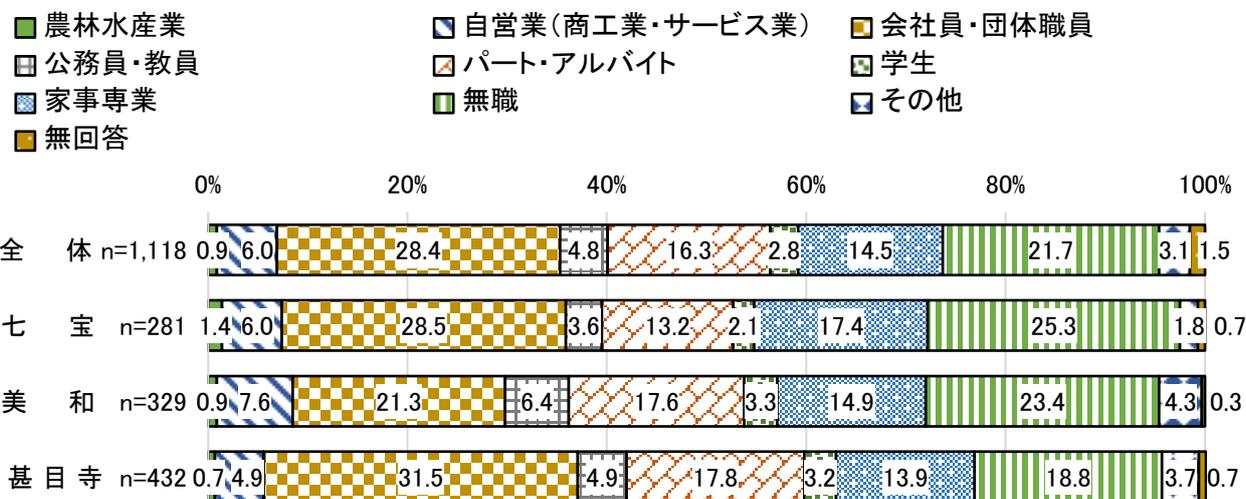
年齢別にみると、18～69歳では「会社員・団体職員」が、70歳以上では「無職」が、それぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、甚目寺地区では「会社員・団体職員」が他の地区に比べてやや高くなっています。

#### 【年齢別】



#### 【地区別】



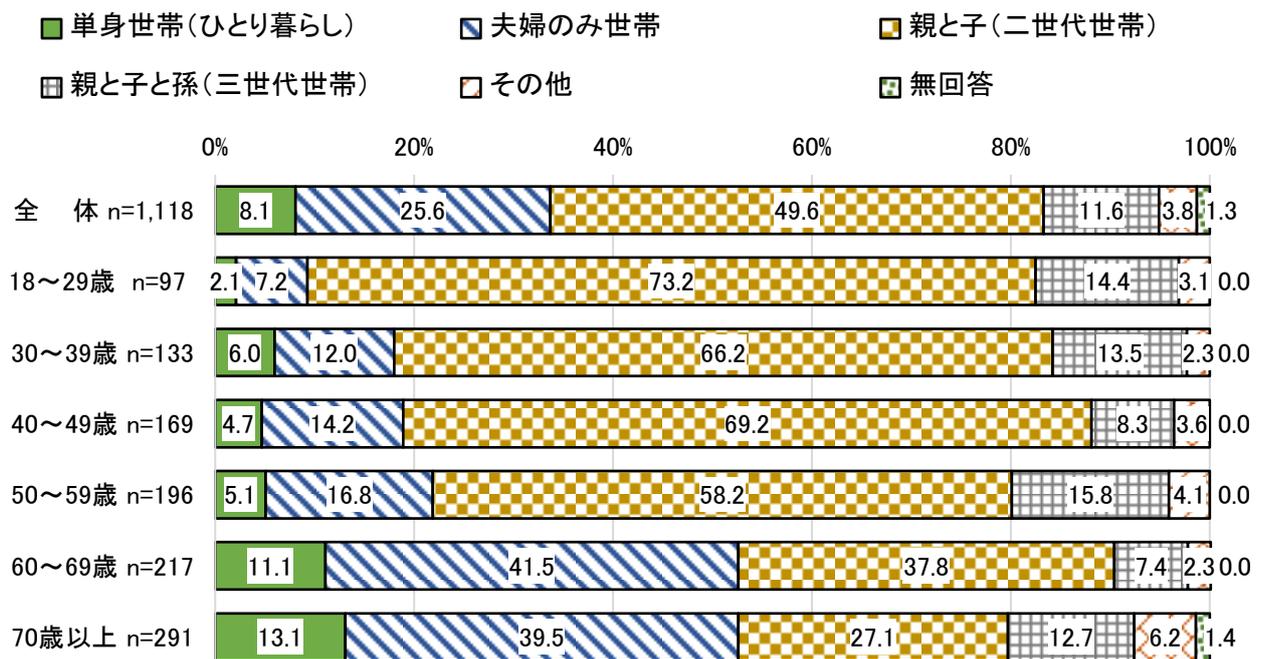
#### 問4 家族構成をお答えください。(○は1つだけ)

家族構成は、「親と子(二世帯世帯)」が49.6%と最も高く、約半数を占めています。次いで「夫婦のみ」が25.6%、「親と子と孫(三世帯世帯)」が11.6%となっています。

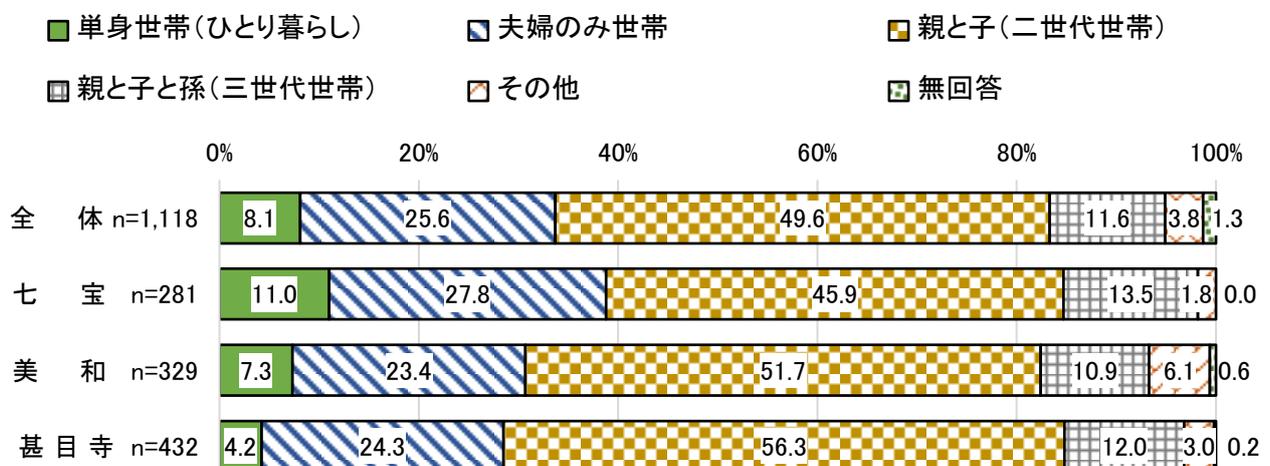
年齢別にみると、18歳～59歳では「親と子(二世帯世帯)」が最も高くなっています。また、60歳以上では「夫婦のみ世帯」が最も高くなっています。

地区別にみると、七宝地区で「単身世帯(ひとり暮らし)」が他の地区に比べてやや高くなっています。

#### 【年齢別】



#### 【地区別】



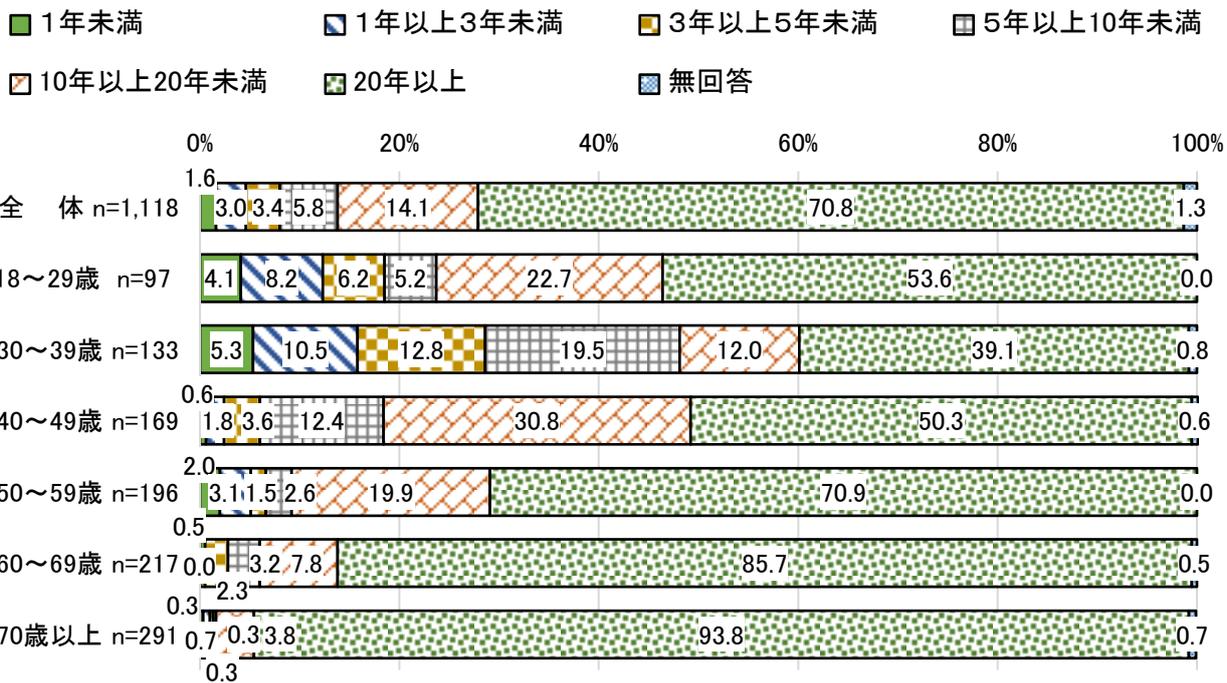
問5 あま市での居住年数をお答えください。(○は1つだけ)

あま市での居住年数は、「20年以上」が70.8%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が14.1%、「5年以上10年未満」が5.8%となっており、居住年数10年以上の人が8割以上を占めています。

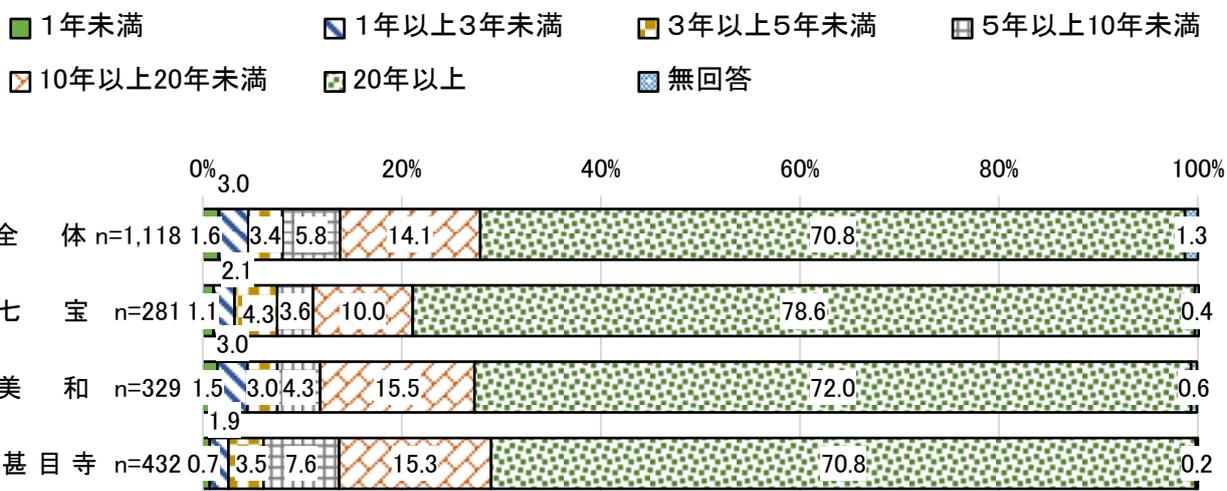
年齢別にみると、いずれの年齢でも「20年以上」が最も高くなっていますが、30～39歳では10年未満が約半数を占めています。

地区別にみると、七宝地区で「20年以上」が他の地区に比べてやや高くなっています。

【年齢別】

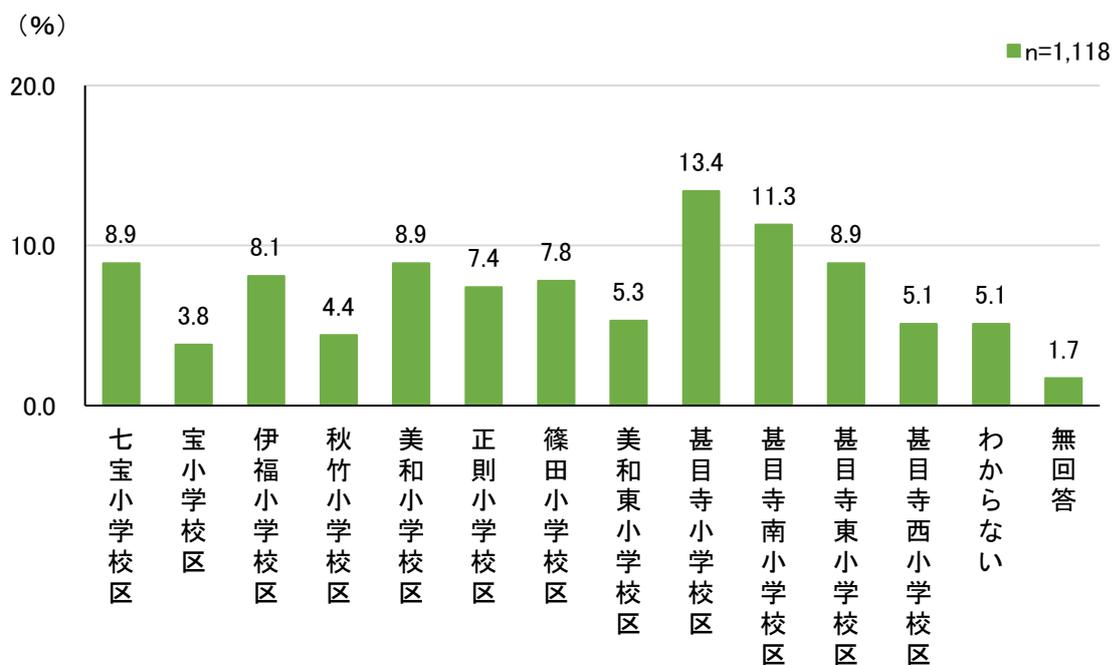


【地区別】



問6 お住まいの小学校区についてお答えください。(〇は1つだけ)

お住まいの小学校区について、「甚目寺小学校区」が13.4%と最も高く、次いで「甚目寺南小学校区」が11.3%、「七宝小学校区」、「美和小学校区」、「甚目寺東小学校区」がいずれも8.9%となっています。



## 問7 あなたは、「福祉」に関心をお持ちですか。(〇は1つだけ)

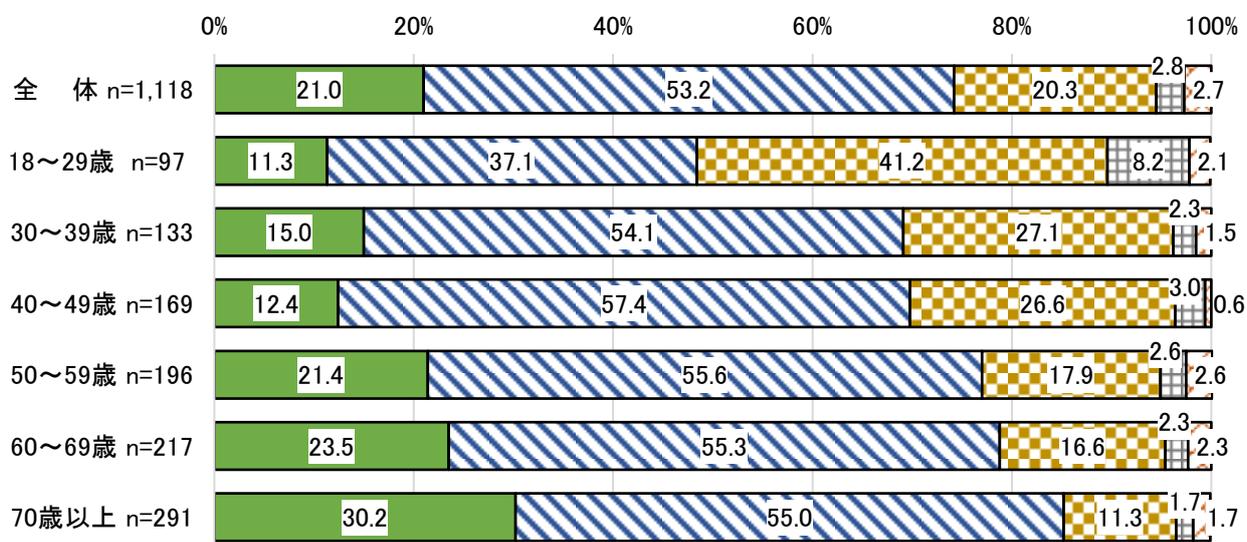
「福祉」に関心をもっているかについて、「とても関心がある」と「やや関心がある」を合わせた『関心がある』が74.2%、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた『関心がない』が23.1%となっています。

年齢別にみると、18～29歳では『関心がない』が他の年齢に比べて高くなっています。

地区別にみると、美和地区で『関心がある』が他の地区に比べて高くなっています。

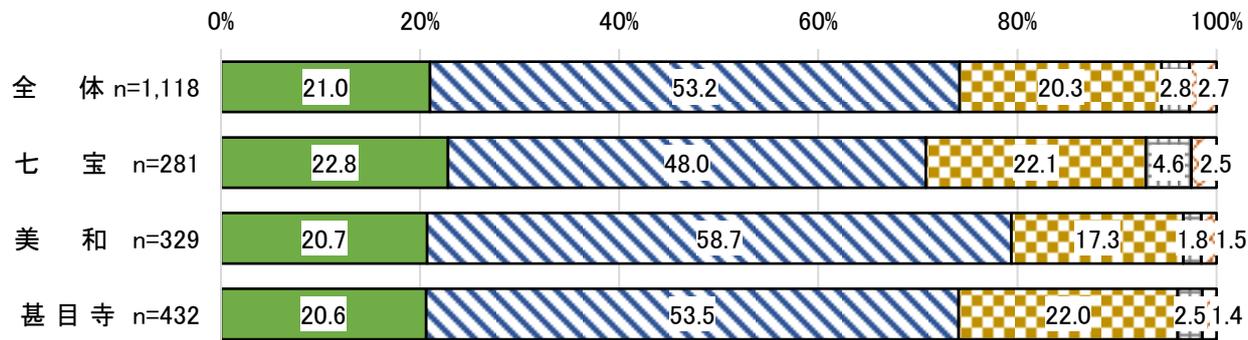
### 【年齢別】

■とても関心がある ■やや関心がある ■あまり関心がない ■まったく関心がない ■無回答



### 【地区別】

■とても関心がある ■やや関心がある ■あまり関心がない ■まったく関心がない ■無回答



## 8 成年後見制度について

問 35 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つだけ)

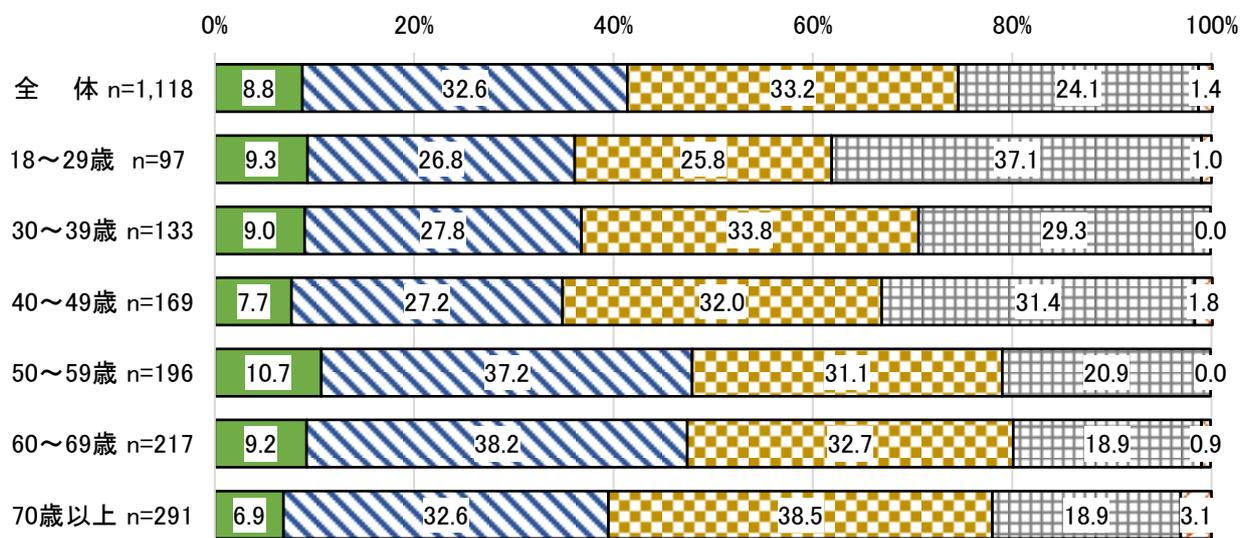
成年後見制度について、「聞いたことはあるが内容は知らない」が33.2%、「少し知っている」が32.6%、「全く知らない」が24.1%、「よく知っている」が8.8%となっています。

年齢別にみると、18～29歳で「全く知らない」が他の年齢に比べて高くなっています。

地区別にみると、甚目寺地区で「全く知らない」が他の地区に比べて高くなっています。

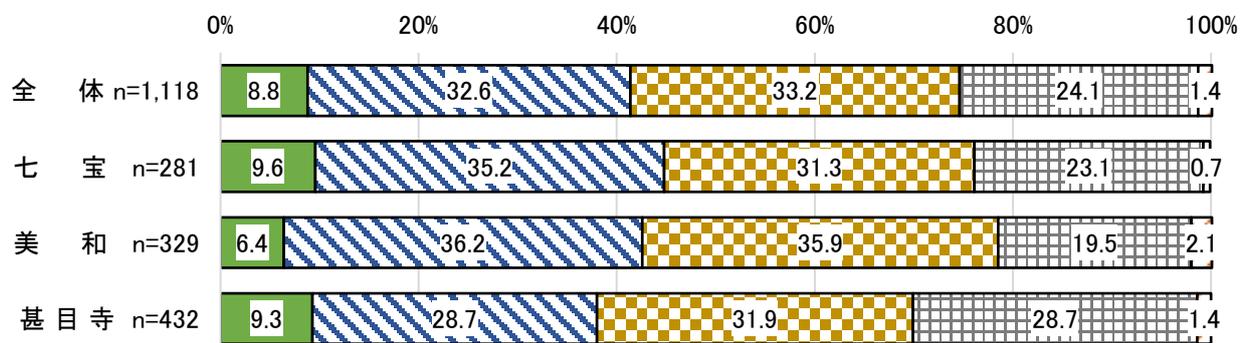
### 【 年齢別 】

■ よく知っている ■ 少し知っている ■ 聞いたことはあるが内容は知らない ■ 全く知らない ■ 無回答



### 【 地区別 】

■ よく知っている ■ 少し知っている ■ 聞いたことはあるが内容は知らない ■ 全く知らない ■ 無回答



問 36 あなた自身や親族が、認知症などにより判断が十分にできなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(〇は1つだけ)

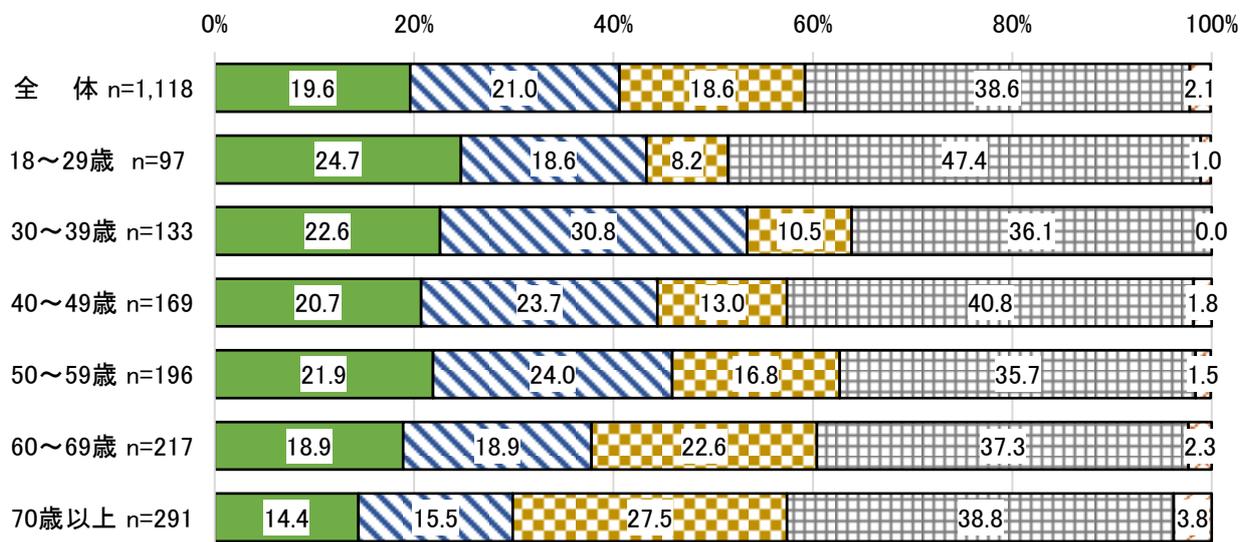
自分自身や親族が、認知症などにより判断が十分にできなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいと思うかについて、「利用したい」が19.6%、「利用したいが手続きを知らない」が21.0%、「利用しない(したくない)」が18.6%、「わからない」が38.6%となっています。

年齢別にみると、30～39歳で「利用したいが手続きを知らない」が他の年齢に比べて最も高くなっています。

地区別にみると、七宝地区で「利用したい」が他の地区に比べて高くなっています。

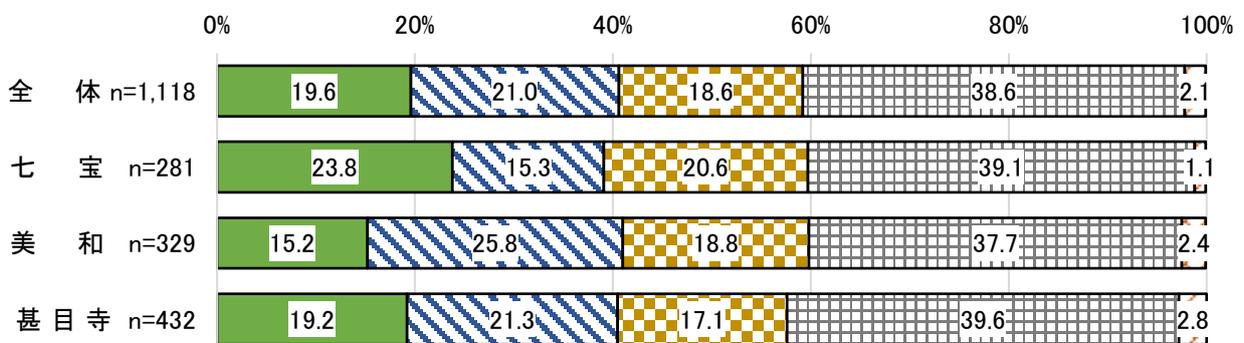
【 年齢別 】

■ 利用したい ■ 利用したいが手続きを知らない ■ 利用しない(したくない) ■ わからない ■ 無回答



【 地区別 】

■ 利用したい ■ 利用したいが手続きを知らない ■ 利用しない(したくない) ■ わからない ■ 無回答



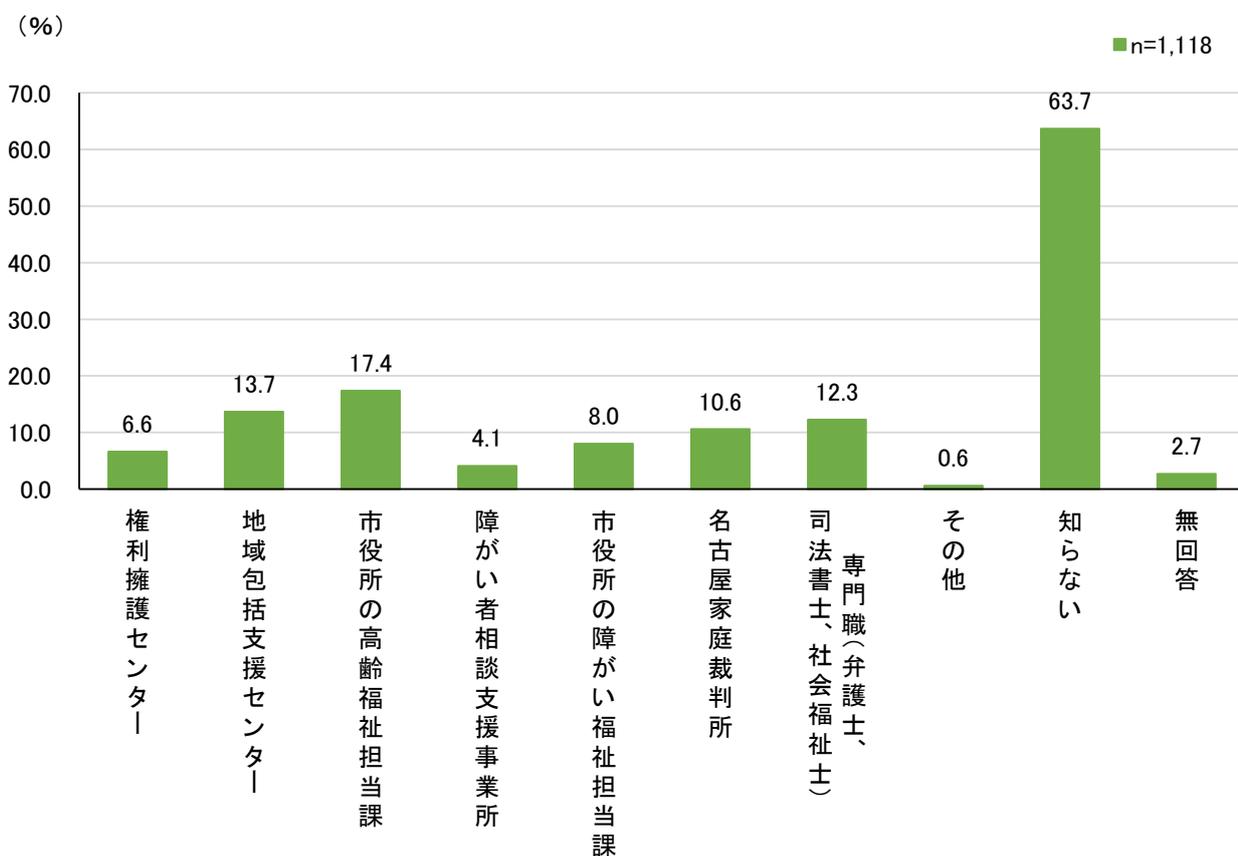
問 37 成年後見制度について相談できる機関を知っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

成年後見制度について相談できる機関を知っているかについて、「市役所の高齢福祉担当課」が 17.4%、「地域包括支援センター」が 13.7%、「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士）」が 12.3%、「名古屋家庭裁判所」が 10.6%となっています。また、「知らない」が 63.7%となっています。

年齢別にみると、18～29 歳では「地域包括支援センター」、30～49 歳及び 60 歳以上では「市役所の高齢福祉担当課」、50～59 歳では「地域包括支援センター」と「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士）」が、「知らない」を除きそれぞれ高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区も「市役所の高齢福祉担当課」が「知らない」を除き高くなっています。



【 その他の回答（抜粋） 】

- ・社会福祉協議会
- ・法テラス
- ・民生委員

## 【 年齢別 】

(%)

	調査数（人）	権利擁護センター	地域包括支援センター	市役所の高齢福祉担当課	障がい者相談支援事業所	市役所の障がい福祉担当課	名古屋家庭裁判所	専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士）	その他	知らない	無回答
全 体	1,118	6.6	13.7	17.4	4.1	8.0	10.6	12.3	0.6	63.7	2.7
18～29歳	97	4.1	13.4	12.4	5.2	9.3	6.2	10.3	1.0	73.2	1.0
30～39歳	133	3.8	11.3	12.8	6.0	9.0	6.8	11.3	0.0	76.7	0.0
40～49歳	169	3.0	10.1	15.4	3.0	6.5	8.9	8.3	0.0	72.8	1.8
50～59歳	196	7.7	13.8	12.2	3.1	6.6	9.2	13.8	1.0	65.3	2.0
60～69歳	217	8.8	15.7	18.9	4.1	8.3	13.4	14.7	0.9	61.3	1.4
70歳以上	291	8.9	16.2	25.8	4.5	8.6	14.1	13.4	0.3	49.5	6.2

## 【 地区別 】

(%)

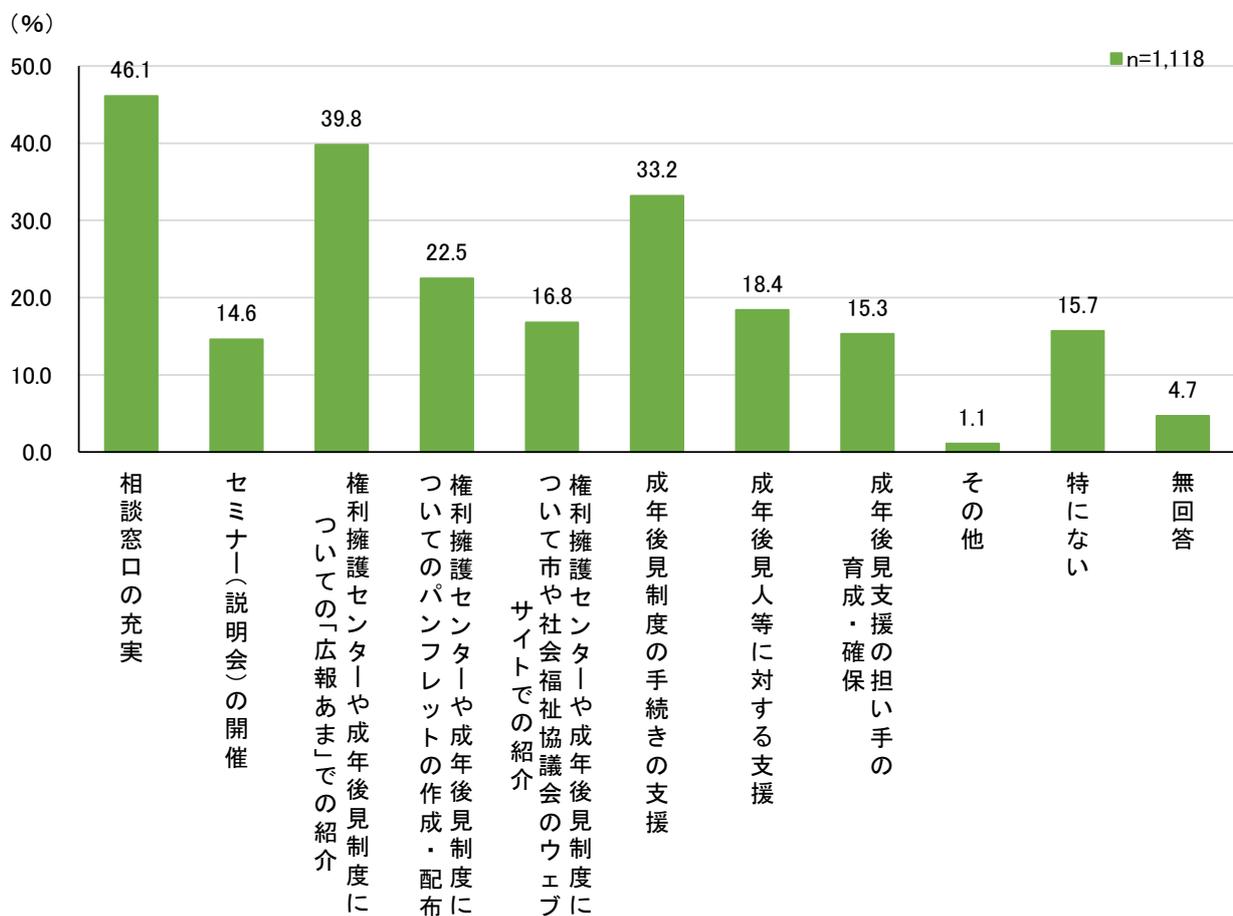
	調査数（人）	権利擁護センター	地域包括支援センター	市役所の高齢福祉担当課	障がい者相談支援事業所	市役所の障がい福祉担当課	名古屋家庭裁判所	専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士）	その他	知らない	無回答
全 体	1,118	6.6	13.7	17.4	4.1	8.0	10.6	12.3	0.6	63.7	2.7
七 宝	281	7.5	14.6	15.3	2.8	7.1	14.6	12.8	0.4	61.9	1.8
美 和	329	5.2	14.3	19.1	5.5	9.1	8.8	12.8	0.3	64.7	3.0
甚 目 寺	432	7.2	12.7	18.1	3.2	7.2	9.7	12.0	0.9	63.4	3.0

問 38 あま市では、令和3年4月1日に成年後見制度について専門的に相談できる「権利擁護センター」を開設しています。「権利擁護センター」に期待することは何ですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

「権利擁護センター」に期待することについて、「相談窓口の充実」が46.1%と最も高く、次いで「権利擁護センターや成年後見制度についての「広報あま」での紹介」が39.8%、「成年後見制度の手続きの支援」が33.2%となっています。

年齢別にみると、18～29歳及び40～69歳では「相談窓口の充実」、30～39歳では「相談窓口の充実」と「成年後見制度の手続きの支援」、70歳以上では「相談窓口の充実」と「権利擁護センターや成年後見制度についての「広報あま」での紹介」が、それぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区も「相談窓口の充実」が最も高くなっています。



【 その他の回答 (抜粋) 】

- ・申請を待つ行政から、申請を進める行政への積極化を望む
- ・この制度の周知
- ・制度には賛成ですが人選について、どの様に信用するのか、迷っている
- ・担い手の資質等の基準作り
- ・SNSでの紹介

## 【 年齢別 】

(%)

	調査数（人）	相談窓口の充実	セミナー（説明会）の開催	「後見制度にあま」での紹介	権利擁護センターや成年後見制度の作成・配布	権利擁護センターや成年後見制度について市や社会福祉協議会のウェブサイトで紹介	成年後見制度の手続きの支援	成年後見人等に対する支援	成年後見支援の担い手の育成・確保	その他	特にない	無回答
全 体	1,118	46.1	14.6	39.8	22.5	16.8	33.2	18.4	15.3	1.1	15.7	4.7
18～29歳	97	47.4	15.5	33.0	18.6	20.6	40.2	26.8	13.4	0.0	27.8	2.1
30～39歳	133	42.1	11.3	37.6	15.8	25.6	42.1	27.1	18.8	2.3	16.5	0.0
40～49歳	169	48.5	15.4	34.9	16.0	18.3	39.1	26.6	15.4	0.6	16.6	2.4
50～59歳	196	50.5	15.3	42.3	20.9	23.5	38.8	18.9	19.9	0.0	12.2	4.6
60～69歳	217	48.8	14.7	44.7	27.2	15.2	27.6	16.1	16.1	0.9	14.7	3.2
70歳以上	291	41.2	15.1	41.2	28.9	7.9	24.1	8.2	10.0	1.7	14.4	10.0

## 【 地区別 】

(%)

	調査数（人）	相談窓口の充実	セミナー（説明会）の開催	「後見制度にあま」での紹介	権利擁護センターや成年後見制度の作成・配布	権利擁護センターや成年後見制度について市や社会福祉協議会のウェブサイトで紹介	成年後見制度の手続きの支援	成年後見人等に対する支援	成年後見支援の担い手の育成・確保	その他	特にない	無回答
全 体	1,118	46.1	14.6	39.8	22.5	16.8	33.2	18.4	15.3	1.1	15.7	4.7
七 宝	281	47.3	16.0	40.6	25.3	18.1	34.9	19.2	13.2	1.1	15.3	3.6
美 和	329	45.9	14.0	40.1	24.3	18.2	31.6	18.8	17.6	0.9	17.3	4.6
甚 目 寺	432	44.2	14.1	39.4	20.6	15.3	33.3	16.7	14.8	0.9	16.2	5.1

## 6 成年後見制度について

---

### ◆成年後見制度

成年後見制度の認知度について、全体では「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた『知っている』の割合が4割程度となっており、特に「よく知っている」が1割未満と十分に浸透していない状況です。

自分自身や親族が、認知症などにより判断が十分にできなくなった場合、成年後見制度を利用したいと思うかについて、高齢になるにつれて「利用しない（したくない）」の割合が高くなっており、特に70歳以上の高齢者では他の年齢に比べて最も高くなっています。成年後見制度の利用については、世代間で認識に差があることから、制度の周知を図る必要があると考えられます。

### ◆権利擁護センター

成年後見制度について相談できる機関について、6割以上が「知らない」と回答しています。また、「権利擁護センター」の回答は全体の6%程度となっており、今後はより認知度を上げていくことが有効と考えられます。

また、「権利擁護センター」に期待することとして、「相談窓口の充実」が最も多く回答されており、次いで「権利擁護センターや成年後見制度についての「広報あま」での紹介」、「成年後見制度の手続きの支援」となっています。権利擁護センターは令和3年4月1日に開設された新しい相談支援機関ですが、周知活動のほか、機能の充実についても引き続き取り組んでいく必要があります。